

NUAL (ニューアル) は Nagoya University Alumni Association の略称です。



上段左：第16回名古屋大学ホームカミングデイ、上段右：卒業生へ送る 名古屋大学の今  
下段左：海外同窓生だより：全学同窓会上海支部、下段右：海外同窓生だより：米国 NU Friends  
Upper Left: The 16<sup>th</sup> Nagoya University Homecoming Day; Upper Right: To our alumni: Nagoya University today;  
Bottom Left: News from our overseas alumni: NUAL Shanghai Branch; Bottom Right: News from our overseas alumni: NU Friends in the States

## Contents

特集1 柴田昌治全学同窓会新会長  
就任挨拶 ..... 2  
Inaugural address from President of NUAL  
Masaharu Shibata

特集2 第16回ホームカミングデイ報告 ..... 3  
Report on the 16<sup>th</sup> Annual Homecoming Day

活躍する会員たち ..... 4  
NUAL People in Action

同窓会ニュース ..... 8  
NUAL News

事務局からのお知らせ ..... 12  
From the NUAL Office

特集では、新たに全学同窓会会長に就任されました柴田会長にご挨拶をいただきます。オンラインで開催されたホームカミングデイの報告もお伝えします。同窓会ニュースでは、同窓会支援事業採択事業の報告をご紹介します。活躍する会員たちのコーナーでは、環境学研究所卒の白井さん、教育発達科学研究科卒の山本さんにお話しいただきました。

In this issue's special features, the newly appointed President of NUAL, Masaharu Shibata, addresses readers. We also report on Homecoming Day, which was held online this year. In our alumni news you can read about the projects that have been selected as NUAL Support Projects. And in this installment of NUAL People in Action we hear from Graduate School of Environmental Studies alumni Mr. Shirai and Graduate School of Education and Human Development alumni Ms. Yamamoto.

# 柴田昌治全学同窓会新会長 就任挨拶

## Inaugural address from President of NUAL Masaharu Shibata



名古屋大学全学同窓会 会長  
柴田 昌治

豊田章一郎前会長の後を受け、令和2年11月から名古屋大学全学同窓会の会長に就任いたしました。名古屋大学全学同窓会は、皆様のご支援により平成14年10月に創設され、設立18年を迎えています。全学レベルの同窓会をつくることにより、大学全体と卒業生・修了生のつながりをより強め、名古屋大学と社会の発展に貢献するとの考えを豊田前会長と共有しつつ、私は創設時から全学同窓会の副会長をお引き受けしてきました。

名古屋大学全学同窓会はこれまでに、国内では関東支部、遠州会、関西支部、岐阜支部の4支部を、海外では、韓国、バングラデシュ、上海、タイ、北京、ベトナム、カンボジア、モンゴル、ウズベキスタン、台湾、ラオス、ミャンマー、インドネシア、フィリピン、マレーシアに15の支部を設立しております。

その他、大学支援事業、同窓会カード（名古屋大学カード）発行、大学内での講演会や大学への寄附講義などの実施、また、大学と一緒にの情発信や各種の活動もしております。

名古屋大学の活躍はめざましいものがあります。まず、全学同窓会の6名の会員がノーベル賞を受賞されたことは、特筆に

値します。また、スーパーグローバル大学創成支援事業やアジアサテライトキャンパス学院など多くの分野で名古屋大学は注目されており、卒業生として喜ばしい限りです。そして、平成30年3月には、世界最高水準の教育研究活動の展開が見込まれる大学として「指定国立大学法人」に指定されました。さらに、令和2年4月には、世界有数の経済圏である東海地域にふさわしい新たな大学モデルの構築を目指して、岐阜大学と法人を統合した「国立大学法人東海国立大学機構」が設立されました。名古屋大学の伝統である清新で自由闊達な学風のもとで、松尾総長を先頭にして飛躍されるとともに、東海地域のさらなる発展につながることを期待しております。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会の活動が大きく制限される中、大学はオンライン授業等の難しい対応を迫られています。全学同窓会は、大学が設けた「新型コロナウイルス感染症対策緊急学生支援基金」に協力いたしました。さらに、国内外の支部・部局同窓会と連携しつつ、種々の行事を中止・延期しながら可能な形で活動に取り組んでおります。

今後、名古屋大学が国際競争力を持った大学としてさらなる発展を図っていくためには、大学と社会との連携がますます大切になってまいります。全学同窓会が設立時の理念として掲げた「大学と社会を結ぶ必須の組織」となるように皆様とご一緒に努力したいと思っております。

これらの活動も皆様の物心両面の支援なしではありえません。皆様のますますのご協力をお願い申し上げます。

名古屋大学全学同窓会

会長 柴田昌治

しばた まさはる  
柴田 昌治 会長

略歴

昭和34年3月	名古屋大学法学部卒業	平成13年7月～平成14年7月	愛知県公安委員会委員長
昭和34年4月	日本ガイシ株式会社入社	平成14年5月～平成18年5月	日本経済団体連合会副会長
平成5年6月	代表取締役専務	平成18年5月～平成22年5月	同 評議員会副議長
平成6年6月	代表取締役社長	平成15年1月～平成21年1月	財務省 財政制度等審議会委員
平成14年6月	代表取締役会長	平成15年4月～平成19年4月	厚生労働省 労働政策審議会委員
平成23年4月	取締役相談役	平成16年4月～令和2年3月	国立大学法人名古屋大学 経営協議会委員
平成23年6月	相談役		他、団体及び公職歴多数
平成28年2月	特別顧問（現任）		
平成10年6月	ベルギー王国 ‘レオポルドⅡ世勲章コマンドール章’ 受章		
平成17年7月	フランス共和国 ‘レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ’ 受章		
平成19年11月	日本国 旭日重光章 受章		
平成23年10月	名古屋大学名誉博士号		

# 第16回ホームカミングデイ報告

## Report on the 16<sup>th</sup> Annual Homecoming Day

名古屋大学全学同窓会 代表幹事  
和田 壽弘



### 1. はじめに

令和2年10月17日(土)にホームカミングデイが開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大のために、皆様をお招きすることが困難となり、オンラインでの開催となりました。

### 2. 第16回ホームカミングデイ

「社会の中の大学」というテーマの下で開催され、松尾清一総長によるウェルカムスピーチと混声合唱団名古屋大学コール・グランツェによる合唱曲「ほらね」で始まりました。総長のスピーチから本学の特徴と躍進する姿が伝わってきました。また、合唱を拝聴して清々しい気持ちになりました。

メイン企画として8件が実施され、その内の2企画「SDGsと大学」「卒業生へ送る、名古屋大学の今」がライブ配信でした。他の「名大今昔物語～学食総選挙☆2020GENERATIONS～」 「総長ドキュメンタリー～人間、松尾清一～」 「海外同窓生だより(全学同窓会上海支部と米国 NU Friends)」 「あかりんご隊科学実験『みえ方の不思議～3Dの絵を体験しよう!～』」なども好評でした。各研究科の企画もオンラインで開催され、良かったという声を多数いただきました。

特別企画「SDGsと大学」は本学環境学研究科による企画です。東京大学未来ビジョン研究センターの高村ゆかり教授による基調講演、続いて本学環境学研究科の横山智教授と道林克禎教授、ブラザー工業の岩田俊夫氏、NPO 法人メコン・ウォッチの木口由香氏が加わって討論が行われ、「持続可能な開発目標」に関して刺激を受けました。「卒業生へ送る、名古屋大学の今」では、第一部で司会の杉山 直統括副総長と松尾総長が本学の現状を説明し、第二部で4名の最先端研究者が各自の学問分野を紹介しました。小川浩平准教授(工学研究科)「対話ロボットを通じて人を知る」、河江肖准教授(高等研究院)「ピラミッド研究最前線」、上川内あづさ教授(理学研究科)「『求愛の歌』を理解する脳のしくみを探る」、坪木和久教授(宇宙地球環境研究所)「航空機で台風を観測する」です。

「総長ドキュメンタリー」では、松尾総長の仕事ぶりや考え方に触れられて総長を身近に感じました。「海外同窓生だより」の2企画では、全学同窓会上海支部から楊立会長、張豪副会長、呂雷寧幹事が、本学から松尾総長と木村彰吾副総長がオンラインで対話しました。支部の活発な活動状況や母校愛の深さが伝わって来ました。「米国 NU Friends」からは、名大米国事務所 NU Tech の所長で本学総長補佐である神山知久教授による米国同窓生コミュニティの紹介に続き、本学工学部卒業生の成田昌隆氏(ルーカスフィルム、ILM リードモデラー)による、米国でのCGモデラーとしての仕事、今後の夢などの話を興味深く伺いました。

今年はコロナ禍のために国際交流貢献顕彰の表彰式が中止となったことを受けて、例年ホームカミングデイ前日に開かれていた全学同窓会海外支部歓迎会を持つことが叶いませんでした。

### 3. 全学同窓会役員について

ホームカミングデイ当日に予定されていた全学同窓会評議員会が対面形式では不可能となったため、10月6日から10月22日までの書面審議となりました。この結果、11月1日付をもって柴田昌治副会長の会長就任、豊田章一郎会長の名誉会長就任、代表幹事を含む役員任期の1年延長が認められました。豊田名誉会長には平成14年の全学同窓会設立以来18年にわたって会長としてお骨折りいただき、深甚の感謝を申し上げます。

引き続き、皆様には全学同窓会への物心両面に渡るご支援を是非賜りますようお願い申し上げます。



総長ドキュメンタリー



特別企画「SDGsと大学」

## 活躍する会員たち NUAL People in Action

「活躍する会員たち」では、同窓会会員の各界におけるご活躍ぶりを紹介しています。第35回は、環境学研究科で博士学位を取得され、電力中央研究所でご活躍の白井正樹さん、教育発達科学研究科をご卒業後、デロイト トーマツコンサルティングでご活躍の山本奈々さんにお話しいただきました。

NUAL People in Action introduces the activities of alumni in various sectors. For this 35<sup>th</sup> installment, we spoke to Mr. Masaki Shirai, who received a PhD from the Graduate School of Environmental Studies and now works at the Central Research Institute of Electric Power Industry (CRIEPI), and Ms. Nana Yamamoto, alumni of the Graduate School of Education and Human Development who went on to work for Deloitte Tohmatu Consulting.

しらい まさき  
白井 正樹さん



### ■略歴

- 2010年4月 名古屋大学大学院環境学研究科 博士課程（後期課程）入学
- 2014年7月 名古屋大学大学院環境学研究科 博士課程（後期課程）単位取得満期退学
- 2014年8月 一般財団法人電力中央研究所 環境科学研究所 生物環境領域 研究員  
（2015年8月より主任研究員）
- 2016年3月 博士（工学）取得（名古屋大学大学院）

私が勤務する電力中央研究所は電気事業共同の研究機関であり、「電気を作る・送る・使う」技術に関わる研究開発を行っています。研究所は東京を中心にいくつかの拠点（大手町、狛江、横須賀、我孫子など）に分かれています。私は千葉県我孫子市の環境科学研究所に所属しています。

現在はこのような職場にいますが、博士課程では海鳥の行動生態に関する研究に取り組んでいました。毎年新潟県の粟島という離島に通い、そこに生息するオオミズナギドリを対象に親鳥の子育て行動を観察していました。私としては、自身の研究が人間社会の役に立つとは考えていなかったのですが、電力中央研究所から採用をいただいたときには大変驚いたのを覚えています。



粟島でのオオミズナギドリの巣探し風景

電力中央研究所で働くまでは、電気事業と鳥類に何の関係があるのかもよくわかっていませんでしたが、入ってしばらくすると“鳥類を守ること”、“電力設備を守ること”の両面で研究が必要とされていることがわかりました。例えば、最近話題の洋上風力発電ですが、開発海域に生息する海鳥へ影響を及ぼすことが懸念されています。風車のブレードへの衝突（バードストライク）はもちろん、工事の騒音や照明などによって海鳥が開発海域を避けるようになり、生息数が減少する可能性も指摘さ

れています。このような影響をできるだけ低減するためには、海鳥の洋上での行動パターンや新規環境に対する反応を事前に把握し、洋上風力発電の計画に取り入れていく必要があります。

一方で、鳥類による電力設備への被害も発生しています。代表的なものとして、鉄塔や電柱へのカラスの営巣と、それによる停電が挙げられます。電力会社（送電事業者）では全国で年間20万個以上の巣を撤去して停電防止に努めていますが、今後人口減少が予想される社会では、人手をかけて解決することが難しくなっていきます。そのため、カラス対策装置などで巣を作らせない取り組みが重要となってきますが、対策装置にどの程度効果があるのかははっきりとわかっていません。このような疑問に一つ一つこたえられるように、ある時は繁殖地に泊まり



ラオス・カチェット村にて



飼育中のハシブトガラス

込んで夜通し観察をしたり、またある時は飼育したカラスによる実験を行ったりするのが私の仕事となっています。

名古屋大学在学時の貴重な経験として、入学と同時に参加したグローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」でのリサーチアシスタントが挙げられます。プログラムでは、環境課題を医療になぞらえ、診断（地球科学・生態学等）と治療（工学・社会科学等）の両方を俯瞰する分野横断的な研究活動に取り組みました。普段では経験できないラオスでのフィールドワークや、異なる研究科の学生とのディスカッションには大きな刺激をもらいました。この経験は、社会のニーズを踏まえながら鳥類の保全や対策に取り組む現在の仕事に大いに役立っていると感じています。

電力中央研究所に入所して7年が経ちました。その間、職場の方々はもちろん、インターンシップの学生、共同研究者など、多くの方の協力のもと少しずつ研究を進めることができました。まだまだ動物も人間社会もわからないことだらけですが、少しずつ明らかにしていきたいと考えています。

やまもと なな  
山本 奈々さん



■略歴

1999年 名古屋大学 教育学部入学  
2003年 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科入学  
2005年 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 心理発達科学専攻 修士課程修了  
2005年 トーマツ コンサルティング株式会社（現 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社）入社  
現在 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 執行役員

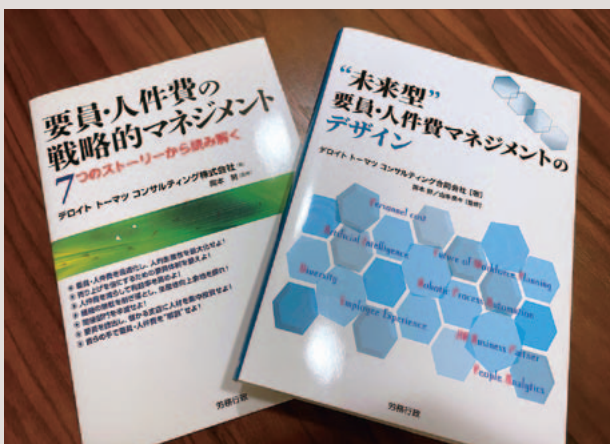
デロイトトーマツ コンサルティング (DTC) は、国際的なビジネスプロフェッショナルのネットワークである Deloitte (デロイト) の一員として、日本におけるコンサルティングサービスを担っている会社で、私はその中の Human Capital (組織・人事領域) のチームに所属しており、Workforce Planning & Analytics サービスリーダーを務めています。

### 1. 心理学専攻で大学院まで進学するも、コンサルティング会社へ就職

高校の頃から心理学に興味があり、大学入学時には臨床心理士の資格を取得して心理学関係の仕事をしてみたいと思っていたのですが、大学で学ぶ過程で、“人”そのものというより、人のもつ特性や行動の傾向、その法則性により興味が湧き、社会心理学を専攻に選びまし

た。元々、心理学の道で食べていこうと考えていたため、入学当初から大学院へは進学しようと思っていたものの、実際に大学院進学の時期になると、このまま大学に残って研究を続けるのも何となく違うな、と思いつつ、その頃は特にやりたい仕事もなく、興味のある研究テーマはあったため、当初の予定通り、大学院へ進学しました。

院へ進学してからも、自分のやりたい研究テーマは追いかけてながらもモラトリアムな時間を過ごしていたのですが、ある時、アルバイト先の飲食店で本社からの指示に対して社員である店長とパートさんの意見が対立しているのを見て、意見が対立するのはそれぞれの立場・それぞれの利益があるからであって、第三者的な立場からでないと本当に価値のある判断が難しいのでは?と思ったことをきっかけに、対象組織に属さず、その組織に対して提言ができるコンサルティングという仕事に興味を持ち、遅まきながら就職活動を始めました。ほぼ思いつきで就職活動を始めたため、そもそも就活に対する知識もなく、業界研究などもほとんど実施せず、自分の興味関心だけに基づいた就活をしていたのですが、この会社に入れたら嬉しいな~と感じていたトーマツ コンサルティング (当時) に内定をいただくことができたのは、本当にラッキーだったな、と今でも振り返って思います。心理学専攻で大学院へ進学する方は、ほぼそのまま大学に残るのが普通? だったため、就職活動で大学をしばらく休んだ後に久しぶりに登校した際、「あまりに姿を見ないので辞めたのかと



共著ですが、書籍を2冊出版しています

思った」と同級生に言われたのは良い思い出です。

## 2. 戦略を実現するのは“人”である、という思い

コンサルティングといえば戦略、というのがその頃のメインストリームだった（と、少なくとも自分自身は感じていた）のですが、私はやはり“人”という要素なくして会社は語れない、どんなに素晴らしい戦略を立てたとしても、それを実行する“人”がいなければ絵に描いた餅である、という考えから、Human Capital 領域を専門として選択しました。

今、私が特に専門としている Workforce Planning サービスは、一言で言えば会社としての戦略を実現するためには、どのような人がどれくらい必要なのか、をプランニングするという、まさに経営と人を繋ぐためのサービスであり、自分がコンサルティング業界に足を踏み入れた際におぼろげながら考えたことを形にしたようなサービスです。10年ほど前からこのサービスの立ち上げに関与しており、自分が目指していたことをこうして世の中に提供できるようになったことは本当に嬉しい限りです。

しかしながら、近年、ビジネス環境の変化のスピードが高まる中、労働力人口の減少・高齢化・（人の代替となり得る）デジタルテクノロジーの進化等、“人”の面において考えなければいけない要素も複雑化し、その舵取りの難易度がますます上がってきています。これまでの新卒一括採用・長期勤続を前提とした“なり”のマネジメントでは対応しきれない場面が多くなってきて、経営と人のあり方を結び付けて考えることの重要性はますます高まっ



Workforce Planning サービスで賞をいただきました（後列左から7人目）

てくるでしょう。そこに対して、どれだけの価値を提供できるのか、まだまだ模索中の毎日です。

## 3. COVID-19が組織と人のあり方に与える影響

さらに、昨年から続く COVID-19 の感染拡大は、人の働き方に多大な影響をもたらしました。特にリモートワークの推進という面では、それ以前にも少しずつ広がりを見せていた変化が一気に推し進められ、数年・数十年単位で起こるはずだった変化がこの1年で起こってしまった、というくらいのインパクトを感じています。多くの会社で、この状況に何とか対応しようと様々な施策に取り組んでいますが、“人”にまつわる様々な取り組みは、特に日本の雇用慣行下においては、そもそも変化を起こすこと自体が難しかったり、仕組みを見直したとしても、本当に変化が実現・定着するまでには長い年月がかかります。

この難局にどう対応すべきか、誰も答えを持ち得ない、絶対的な正解のない問いに、もがきながら取り組む日々を送っています。

# 同窓会ニュース NUAL News

## 令和2年度第1回大学支援事業 採択事業

令和2年度第1回大学支援事業に7件の応募があり、審査の結果、表の5件が採択されました。

事業の内容は、実施後に本誌で紹介され、全学同窓会 HP

でも公開されます。

また、これまでに採択した事業を全学同窓会 HP で公開しています。

### 令和2年度第1回 採択事業

所属・職名等	申請者	事業名
経済学部 経営学科3年	朝井 美和	高校生に向けたキャリア支援事業
工学部 マテリアル工学科2年	岡本 悠生	名古屋大学人力飛行機製作サークル AirCraft 鳥人間コンテスト出場及び優勝に向けての機体製作及び運用
国際機構国際連携企画センター 特任助教 バンコク事務所 副所長 全学同窓会タイ支部 秘書・メンバー	チェンチティクン・ ウイラヤー	The 1st Annual Public Seminar of Nagoya University Alumni Association Thailand Branch Titled 「Adaptation and Recovery after A Year of COVID-19: Prospects and Challenges」 (Co-Hosted by School of Social Innovation, Mae Fah Luang University)
施設・環境計画推進室 室長	恒川 和久	豊田講堂60周年事業 「設計者：横文彦氏が語る豊田講堂設計時の思い出」
大学院国際開発研究科長・教授	山形 英郎	「国際開発研究科サミット2021」の開催

## 同窓会支援事業 NUAL Support Project

全学同窓会の活動理念に沿った名古屋大学の活動（学生活動、就職支援事業、本部・部局による行事・寄附講義等）を支援するため、公募型の大学支援事業を実施しています。

NUAL has an open invitation type support project for Nagoya University's activities (including student activities, employment support service, events and lectures) in harmony with the activity principle of the association.

### 「名古屋大学全学同窓会ウズベキスタン支部10周年記念セミナー ―ウズベキスタン支部活動の回顧と将来展望―」

申請代表者：エルムロドフ・エルドルジョン (Elmurodov Eldorjon)  
 (国際機構国際連携企画センター 特任講師  
 ウズベキスタン事務所 副所長  
 全学同窓会ウズベキスタン支部 会員)

名古屋大学とウズベキスタンとの国際協力の歴史は約20年にも渡っています。名古屋大学とウズベキスタンとの交流は法整備支援事業から始まりました。現在にかけて名古屋大学の法学研究科をはじめ、医学、国際開発、経済、工学、教育学などの学部で200人以上のウズベキスタンの学生が教育を受けました。現在、名古屋大学の卒業生の70人以上はウズベキスタンの様々な政府機関（大統領府、内閣、司法省、最高裁判所、経済省、外務省、国会）と大学の教授として活躍しています。

2010年3月には本学ウズベキスタン事務所が開設され、同時に、全学同窓会ウズベキスタン支部が正式に発足しました。

10年ぶりに全学同窓会の代表者の方々がいらっしゃって、皆で集まることができました。

本事業の成果の概要として、以下のことを達成できました。

- ・名古屋大学全学同窓会の代表と名古屋大学の教授の方々にお目にかかって、ウズベキスタン支部の皆様の活動について発表させていただき情報交換もできたこと。
- ・同窓生間のネットワーキング、知的・心的交流、協力を少しでも発展させたこと。



名古屋大学全学同窓会ウズベキスタン支部設立10周年：フルハノフ氏挨拶





11月8日のセミナー：チャルワック山、タシケント州

- ・今後ウズベキスタン支部の活動を更に発展させる気持ちが強くなったこと。
- ・今後同窓生自身が所属する社会や地球社会にどのように貢献できるかについて1年に1回集まって、議論や意見交換など行うこと。
- ・全学同窓会ウズベキスタン支部の支部長が、メルガノフ・バホディールさんから、ブルハノフ・アクマルさんに交代されたこと。
- ・日本留学経験がなくても日本語ができる方々がいらっしゃるので今後交流の輪を広げていきたい。
- ・今後名古屋大学法学部の卒業生だけではなく他の学部の卒業生とも交流を促進させることが大事である。
- ・毎年11月或いは12月に名古屋大学ウズベキスタン支部のメンバーとの交流会を行うこと。

11月に行われた名古屋大学全学同窓会ウズベキスタン支部の10周年記念セミナーでは多くの卒業生から「帰国しても自分を一生名古屋大学の一員として感じている」という貴重なメッセージをいただきました。

## 混声合唱団名古屋大学コール・グランツェ 全日本合唱コンクール全国大会出場及び 優勝に向けての練習

申請代表者：山田祥子  
(経済学部経済学科3年(当時))

弊団は2019年11月23日に京都にて開催された第72回全日本合唱コンクール全国大会に出場し、大学ユース合唱の部に金賞及び京都市教育委員長賞を頂くことができました。今年で4年連続の金賞受賞と部内2位という成績を収めることができ大変嬉しく思います。私たち3年生にとっては今年が最後のサークル活動であるため、毎回の活動に対する思いは今までと少し異なるように感じています。特にコンクールは、先輩方の成績を受け継ぎ今年も全国大会へいきたいと強く思っていました。

弊団は総勢約130名の大きな合唱団で、年間を通して数々のイベントへ参加したり演奏会を開催したりしています。団の執行部は、日々の練習を充実させようと様々な工夫をして計画を立ててくれています。その一方で活動が盛んになる分、費用もかかります。実力向上と団員の金銭的負担の軽減は両立が難しいです。

全国大会へ出場するには、中部大会を突破しなければなりません。そのためには日々の練習の質を高める必要があります。個人の力を伸ばすためにボイストレーナーの先生に例年より多く来て頂くことと、中部大会前には本番の会場で練習することを検討しました。これらのことにも追加で費用がかかりますが、今回は全学同窓会の支援を頂くことができ大変ありがたく思っています。支援金は二回分のホール練習の施設利用料とボイストレーニング指導料に充てさせて頂きました。本番を想定した練習が十分できたおかげで中部大会を突破し全国大会へ出場することができました。全国大会では1位を取ることはできませんでしたが、来年のコンクールへの励みにつながると思っています。

サークル活動を続けてきて、全学同窓会を含め多くの方々からのご支援やご協力に支えられて活動できていることを実感しました。今後も周囲の方への感謝の気持ちを忘れずに、さらなる成長を目指して取り組んでいきたいと思えます。



大会前円陣



大会演奏後の集合写真

## 大学対抗英語ディベート世界大会の挑戦

申請代表者：松永友裕  
(工学部機械航空工学科4年(当時))

英語ディベートとは、ある論題に対し肯定・否定のチームに分かれて、議論の説得力を競い合う競技です。この競技では、参加者の信条に関わらず無作為に肯否定と論題が決定され、論題発表後15分の準備で7分間のスピーチを行い、スピーチの説得力を基に審判が勝敗を決定します。論題は政治や司法制度、フェミニズム、国際関係など幅広い分野のテーマを含み、英語力だけでなく、多様な社会問題に対する教養、説得力のある話を即興で構成する論理的思考力が必要とされる知的競技です。私達 ESS は約10年前からこの競技に参加し、国内外の大会に参加してきました。

今回私達は、全学同窓会の支援を受け、タイで開催された世界大会へ参加してきました。この世界大会は年に一度年末年始に開催され、今回で40回目を数える歴史ある大会です。今大会では、50カ国、243の大学から434チームが参加しました。大会は9日に渡って以下のように開催されます。2019年12月27日に会場に到着し、28日はレクチャーや開会式、12月29日から31日までは予選が行われました。2020年1月1日は予選の疲れを取るため休日であり、2日、3日に決勝トーナメント、閉会式が開催され、4日に解散となりました。

名古屋大学からは2チーム4人の選手を派遣しました。メディアの中立性、自由貿易の推進やオリンピックの廃止など高度な論題に両チームとも果敢に挑戦しましたが、残念ながらどちらのチームも予選を突破することはできませんでした。しかし、世界各国から来た選手と交流を深め、世界トップレベルの試合を間近で見たことで、大いに刺激を受け、今後の活動の強いモチベーションとなったようです。

また、片方のチームは世界大会の準備の一環として、台湾で開催された北東アジア大会に出場し、外国語としての英語話者部門で優勝しました。海外大会での優勝は本学初の快



世界大会集合写真

挙となります。世界大会の結果には悔しいものもありましたが、世界大会に向けて私達は研鑽を積み、実力をつけることができたと考えています。

このような素晴らしい経験は、全学同窓会の支援なしでは実現しませんでした。この場を借りて、全学同窓会の皆様にお礼申し上げます。

## 農学部創立70周年に向けた卒業生との連携強化の取組み ～第15回ホームカミングデイにおける同窓生及び在学生及び教職員との交流支援～

申請代表者：土川 覚  
(生命農学研究科 研究科長)

この度、名古屋大学全学同窓会からの支援を得て、2019年名古屋大学ホームカミングデイ部局行事として、午前中の「保護者説明会」「研究棟内見学ツアー」に続いて、午後に「同窓生の在籍企業の紹介」、「同窓会懇親会」を実施いたしました。また、それに並行して、農学部同窓会では「農学部同窓会評議員会」「卒業50周年祝賀会」を開催いたしました。

「同窓生の在籍企業の紹介」においては、15社の企業から参加をいただき、40名ほどの在学生が熱心に質問を行い、活発な交流が行われました。

さらに、「同窓会懇親会」「農学部同窓会評議員会」「卒業50周年祝賀会」においては、農学部同窓会評議員をはじめ、「同窓生の在籍企業の紹介」の参加企業同窓生及び在学生、現職教職員約60名が参加し、旧交を温めると共に、今後の学部・研究科と同窓会の連携についての意見交換が行われました。

農学部は2021年に創立70周年を迎え、記念事業等を企画しています。本年度は、準備期間として、同窓生との連携強化を十分図ることができ、2020年度、2021年度に繋がるものとなりました。



当日の様子

## 同窓会・大学行事カレンダー

全学同窓会、部局同窓会、及び、大学に関する行事が下記のとおり開催されます。  
詳細は、全学同窓会ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/> をご覧下さい。

### ○関東支部

#### 1) 東京キタン会 〈定期総会〉

昨年同様、集合による開催に替え Web による開催とします。  
2020年度の事業報告・決算報告と2021年度の事業計画・予算を  
審議します。

返信期日：2021年6月26日（土）

連絡先：東京キタン会事務局 宮坂典男

E-mail：info@tokyo-kitankai.com

#### 〈秋の催事〉

秋の開催を予定しています。企画が決まりましたら改めてお  
知らせ致します（昨年度同様新型コロナウイルス感染症の状況  
によっては中止と致します）。

日 時：2021年10～11月に開催の予定（詳細未定）

開催場所：未定

連絡先：東京キタン会事務局 宮坂典男

E-mail：info@tokyo-kitankai.com

#### 2) 農学部同窓会関東支部

##### 〈農学部同窓会関東支部『新卒者歓迎会』〉

名古屋大学農学部・大学院生命農学研究科を今春卒業した  
方々を対象にします。働く先輩達との懇談、可能な場合は昼食  
会（新卒者は参加費無料）を行います。

日 時：2021年6月12日（土） 11：00～15：00

場 所：学士会館内レストラン「二色」又はオンライン（Zoom）

内容と申込方法：支部 HP に詳細を掲載すると共に、新卒者に  
はメールでお知らせします。

担 当：支部事務局長 春日井 治

E-mail：1209ceb@jcom.zaq.ne.jp

詳細は支部 HP でご確認ください。

支部 HP：http://www.nua-alumkanto.sakura.ne.jp/

##### 〈第24回農学部同窓会関東支部総会〉

日 時：2021年11月13日（土） 13：30～17：30

オンラインの場合 14：00～17：00

場 所：学士会館302号室（東京都千代田区神田錦町）又はオン  
ライン（Zoom）

講 演：（仮題）「気候変動下におけるアジア・アフリカの米増  
産への挑戦」

山内 章教授（作物ストレス制御研究室・S62農 D）

懇親会：乾杯、学生歌斉唱、自己紹介など

参加費：6,000円（30歳未満は3,000円）

オンラインの場合は無料

連絡先：支部長 石川靖文

E-mail：alum-kan@agr.nagoya-u.ac.jp

詳細は支部 HP でご確認ください。

支部 HP：http://www.nua-alumkanto.sakura.ne.jp/

### ○名大遠州会

#### 名大遠州会第25回同窓会・第13回総会

日 時：2021年6月5日（土） 18：00～

場 所：オークラアクティシティホテル浜松

連絡先：名大遠州会同窓会事務局長 鈴木鉄郎

E-mail：enshuszk@yahoo.co.jp

（※新型コロナウイルス感染症の状況によって、今後日程の変  
更が生ずる可能性があります。）

### ○名大農学部同窓会

#### 2021年度名古屋大学農学部同窓会 評議員会、総会、講演会、 懇親会

農学部では、名古屋大学ホームカミングデイに合わせて部局  
の同窓会を開催しております。昨年と同様に本年も、新型コ  
ロナウイルス感染症の影響による不確定性を考慮し、対面実  
施とオンライン実施の両者を睨んで行事の準備を進めており  
ます。以下、対面での行事予定についてお知らせをいたしま  
す。詳細や実施方法の変更等に伴うアップデートは、農学部同  
窓会（セコイア会）ホームページ（<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~dosokai/>）にてご案内をいたしますので、ご確認くだ  
さい。

##### \*評議員会

日 時：2021年10月16日（土） お昼前後

場 所：名古屋大学農学部

##### \*総会、講演会

日 時：2021年10月16日（土） 午後より

場 所：名古屋大学農学部

会 費：無料（講演会は一般に公開いたします）

講 師：福與伸二（ふくよしんじ）氏

昭和59年3月本学農学部農芸化学科

（植物栄養及び肥料学研究室）卒業

サントリースピリッツ株式会社執行役員、

5代目チーフブレンダー

演 題：（仮）「ジャパニーズウイスキーの歴史と現在」

##### \*懇親会

日 時：2021年10月16日（土） 夕刻より

場 所：名古屋大学農学部（予定）

連絡先：農学部同窓会 総務 三浦 健

E-mail：k-miura@agr.nagoya-u.ac.jp

全学同窓会 HP では行事案内等を掲載しています。また、HP では本ニュースレター「NUAL」のバックナンバーも掲載しています。  
ぜひご覧ください。

# 事務局からのお知らせ From the NUAL Office

## ●支援会費のお願い Call for contributions

名古屋大学全学同窓会の活動は、皆様からの支援会費、寄附金に支えられています。支援会費は年度ごとのお支払いとなります。皆様のご協力をお願いします。

## ○支援会費 Supporting Fee

支援会員 Supporting member : 一口 5,000円  
支援法人会員 Supporting institution : 一口 50,000円

## ○お支払い方法

郵便振替 Post Office Account 口座番号 : 00860-8-113043  
自動引落利用ご希望の方は、預金口座振替依頼書をお送りしますので、同窓会事務局にご連絡ください。

## ●住所等の登録・変更について NUAL member registration

全学同窓会では、名古屋大学と連携して、名古屋大学卒業生等電子名簿を整備し、大学及び同窓会からの情報発信を行っています。住所等の変更があった場合は、名古屋大学卒業生等電子名簿システム (<https://web-honbu04.jimu.nagoya-u.ac.jp/nual/>) の情報を更新いただきますようお願いいたします。

お問合せ先 : 名古屋大学 Development Office (DO 室) 卒業生等電子名簿担当  
052-747-6559 (9:00~16:00) [sotugyoumeibo@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:sotugyoumeibo@adm.nagoya-u.ac.jp)

## 「名古屋大学カード」の入会のご案内

### ～ 名古屋大学カードで繋がる大学支援 ～

全学同窓会は、同窓生と母校との連携強化・大学支援の充実を目指し、「名古屋大学カード」を発行しており、利用金額の一部が同窓会に還元されます。

## ◆名古屋大学カード ～ ゴールド ～

入会者は**17,000名**を超えています。



**年会費永年無料!** 家族会員様も1名様に限り無料。  
**ポイントがたまる!** 家族会員様のご利用分もまとめて本会員様へ付与。

- 国内・海外旅行傷害保険付帯 最高3,000万円
- ショッピング保険 年間補償限度額 200万円
- 空港ラウンジサービス

### 入会方法について

- ① WEBからのご入会をご希望の方  
名古屋大学全学同窓会 HP からお申込みください  
⇒ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>
- ② 入会申込書からのご入会をご希望の方  
名古屋大学全学同窓会へ入会申込書をご請求ください  
⇒ TEL/FAX : 052-783-1920 (受付 : 9:00~17:00)

- カード優待サービス企業の紹介 <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/information/OBservice.html>
- カード優待サービスの企業を募集しています。 詳細は全学同窓会事務局へお問い合わせください。

## 編集後記

長らく全学同窓会会長を務められた豊田会長に代わり、柴田会長が就任されました。コロナ禍で活動が縮小される中ですが、ホームカミングデイ、活躍する会員たち、同窓会支援事業と、同窓生の様子をお届けすることができました。多くの卒業生の皆様の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(全学同窓会広報委員会)

**NUAL** Newsletter No.35 令和3(2021)年3月発行

Nagoya University Alumni Association

**NUAL 名古屋大学全学同窓会**

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TEL/FAX 052-783-1920

E-mail [nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp)

ホームページ <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

編集 : 名古屋大学全学同窓会広報委員会